

「金剛山のトラたいじ他」に次ぐ韓国・朝鮮の民話から第2弾!

(30年のロングラン作品)

子どもたちの一人一人の「生きる力」から人と人との「生き合う力」へ

オペレッタ

おん

トラの恩がえし

エンディングは 庶民の農楽(ノンアク)を楽しんでください。

原作:韓国・朝鮮の民話から

音楽:韓国・朝鮮の伝統音楽他

脚本・演出・美術:韓国・朝鮮と日本チーム

出演者による集団創作(デバイジング)

はるか昔から、ユーラシア大陸の東にある大きな半島と列島の自然と人々が交わり、他にない自然と文化を形作ってきました。

トラの毛皮で金儲けする人間と

その人間を食うトラ。

トラと人間 いがみ合う二つの世界に、

あたたかい小さな灯がとまります。

こえられないと思っていた

心の壁がとけはじめます。

思いやりと優しさが心の垣根を取り除く

思いやりと優しさが新しい世界を開く

☆「トラの恩がえし」あらすじ

昔むかし、朝鮮半島にはトラがたくさんおりました。

人間はトラの毛皮を宝物として珍重し、一方トラは人間を喰うので、お互いに恐れあい、憎みあっていました。

山奥で母親と二人で暮らす若い木こりが、ある日、痛みで苦しんでいるトラに出くわし、助けてやります。

思いがけず助けられたトラは、怪我が治ると木こりへの恩がえしを始めるのでした。

☆オプション

ワークショップとして全員参加で韓国・朝鮮の歌を覚えて一緒に歌います。また、「アリラン」「赤とんぼ」のコラボレーションが参加者の心をつにします。(15分程度)



☆農楽(ノンアク)

韓国・朝鮮の農村で、旅芸人によって伝統的な踊り、芝居、演奏、パンソリ、曲芸などが村の広場(マダン)で行われた。「トラの恩がえし」公演ではフィナーレを農楽が飾ります。

オペレッタ劇団ともしび

171-0033 東京都豊島区高田1-12-17

電話03-6907-2731 FAX03-6907-3812

http://www.tomoshi.co.jp Email info@tomoshi.co.jp